

デジタル教科書構成案／地理的分野

第3部 第3章 第3節 近畿地方

第3節の問い 近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は、人口の増加や産業の発展のなかで、どのように取り組まれてきたのだろうか。

評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および、関連するほかの事象を読み取る技能を身に付け、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などに関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。	近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究しようとしている。

展開例

項目	学習課題	本時の目標	指導のポイント
1. 近畿地方の 自然環境	近畿地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	(1) 近畿地方は地形や気候の特色から、大きく三つの地域に分けられることを理解できる。 (2) 近畿地方では、中央部に平野や盆地が広がり、人口が集中していることを理解できる。	・近畿地方の気候が北部・南部・中央部で異なる理由を、近畿地方の地形の特色から考察させる。 ・近畿地方の人口分布の特色を地形との関わりから理解させる。
2. 琵琶湖の水が 支える 京阪神大都市圏	京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では、環境保全のために、どのような取り組みが行われてきたのだろうか。	(1) 琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察できる。 (2) 琵琶湖の水を守る取り組みの歴史的な経緯を理解し、環境保全の大切さに気付くことができる。	・琵琶湖・淀川水系の給水区域内にある主な都市を理解させる。 ・琵琶湖の水質を保全するために、どのような取り組みが行われてきたのか説明させる。 ・琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察させる。
3. 阪神工業地帯と 環境問題への 取り組み	阪神工業地帯では、工業の発展と共に生じた環境問題に対して、どのように取り組んできたのだろうか。	(1) 阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解できる。 (2) 中小企業の高い技術を受け継いでいくための取り組みや、地域住民と共存していくための取り組みについて理解できる。	・阪神工業地帯の特色について、臨海部の変化を中心に理解させる。 ・阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みを行ってきたのか説明させる。

<p>4. 古都京都・奈良 と歴史的景観の 保全</p>	<p>京都と奈良では、 歴史的景観を保全 していくために、 どのような取り組 みが行われている のだろうか。</p>	<p>(1) 京都や奈良には、歴史的な景観や 多くの文化財が残り、観光資源とし て生かされていることを理解できる。 (2) 京都や奈良の人々が、歴史的な景 観や文化財の保全に取り組んでいる 理由を考察できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京都や奈良には、歴史的な景観や多 くの文化財が残されていることを理 解させる。 ・京都や奈良で、歴史的景観を保全す る取り組みが行われている理由を考 察させる。 ・地域の歴史的景観や文化財などを保 全する意義と課題を追究させる。
<p>5. 環境に配慮した 林業と漁業</p>	<p>近畿地方で行われ ている林業・漁業 では、環境を保全 するために、どの ような取り組みを 行っているのだろ うか。</p>	<p>(1) 近畿地方の林業や漁業では、環境 保全のためにどのような取り組みを 行っているか理解できる。 (2) 近畿地方の林業は、森林管理の技 術を受け継ぐ若い後継者が少ないこ とが課題であることに気づき、どの ようなことができるか考えることが できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紀伊山地の林業の特色を理解させ、 資料から課題を読み取らせる。 ・森林や水産資源を保全・保護するた めの取り組みについて説明させる。 ・森林を保全したり、活用したりして いくために、どのようなことができ るのか考えさせる。